

妖狐

ようこ
いんもんきたん

淫紋奇譚

成年
コミック



Presented by

ふみひろ

第5話

二次元ドリームコミックス

妖狐
淫紋奇譚
ようこ
いんもんきたん



第5話





ここが
水神様とやらを
祀^{まつ}っている社^{やしろ}か



水神様と巫女たちが
住むというわりには
なんの霊力も感じない

代わりにほんの僅^{わず}か
だけど妖気が漂^はってる



それにあれ人形だ…
死体を操^さってるのか

荒神の時と同じで
水神様も妖怪かな？

妖気を流し
腐敗を止めてるみたいだから
食料にしているのかもね



荒神の時と同じなら
白の痕跡が何かあるかも
奥まで調べてみるか



巫女達が十数人は
住んでるって話のはずだけど
生活感が全くない

しかも床には埃がない
あの人形達が
掃除でもしてるのかな

妖気が奥から漂ってくる
社の奥に
何か居るのは確かね



地下か…
妖気はここから
流れてきてる

何これ？
微かだけど霊力がある
巫女の祭具？

キキキキ



妖気に混じって
分りにくいけど



白…あいつの匂いだ
あいつは此処に居たんだ

やっと見つけた
あいつの痕跡…

ナ
ナ
ナ
ナ



お腹^{なか}の紋が少しだけど
白の妖気に反応してる

ぴく



此処を調べれば
白の行方が分かるかも

必ずあいつを見つけ
出して…

なんじやお主
白様を知って
おるのか？

すっ

気配を感じなかった…

なんじゃこの児戯は…
鈍感で動きもとろい…
白様の名を出したわりには
下賤な妖怪じやのう

巫女には見えないけど
あなたがひよつとして
水神様？

この社に漂ってた妖気
コイツのだ…
それに白を知っている

水神？
妾が水神じやと
あんな醜い妖怪に
間違われるとは
心外じやのう

水神など何年も前に
白様が巫女共々喰っておる

妾は白様の命^{めい}にて
土地神無きこの地を人が
騒がぬように維持して
いるだけじや

そんなことは
どうでも良い

妾は食事を邪魔されて
少々気分を害しておる

お主の肉を喰らえば
多少は気が晴れるかも
しれんな



何故
下賤なお主が

白様の名を出したかは
その腸を喰いながら
尋ねるとしよう

速いっ



お主の妖気…そうか
白様に作られた妖か
道理で白様を知っておる
はずじゃな

妾もそうじゃ言わば
姉妹という訳じゃな
だが白様に作られた
割には弱すぎるのお

其処^{そこ}いらの妖怪に
毛が生えた程度じゃ
大方贅に作られたのが
逃げ出した所か…

そんな輩がよく白様を
害そうと思つたものじゃ
力どころか知恵も
足りぬのではないか？

それとお主
骸^{むくろ}から生み出されたであろう？
瘴^{しやう}気が濃くてかなわん
喰^くつたら妾が腹を下しそうじゃ

と言つて
ただ打ち殺すのでは
興がないな



些^{いさ}か持て余して
おった所じやが今日は
幾分樂しめそうじや

ぐちゅ
ぐちゅ

そういえば
お主名はなんという？
使い捨ての贅といえど
名はあるじやろ？

同じ白様に作られた誼^{よみ}
名は覚えておいてやろう
妾の名は藍^{あい}じや

ズググ

ズ

ズ

ズググ

なんじや
可愛げがないのう
まあ良いこの触手で
腹を挟り続ければ少しは
素直になるじやろ

すす

く…お前に教える
名前なんてないっ

な…なにこの触手…お腹を
私の妖氣ごと掻き回してる

おっ!!

んんんんん

んんんんん

おっ!!
なん!?

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん



だ…駄目
駄目ええッ



なにこれ…紋が普通じゃない
反応してる…
あ…甘い…頭の芯から蕩ける
ような快感が昇ってくる



わ…私…知ってる…この感覚知ってる…
無理やり犯されている時とは違う
甘美な感覚…



し…白に調教されてた時と同じ
全てを委ねてしまう
官能…



どうじゃお主
名を教える気になったか？



こ…こいつの音が…
頭の奥に甘く響く…
白じゃない…
白じゃないのに…



ひつ…ぎん…
銀ですッ
わ…私の名前

銀ですッ





どうじや膀胱の中で
妾の糸が暴れて
いるのが分かるか？



びん びん びん

お っ

お っ

びん びん びん

びん びん びん

お っ

ほう…
随分簡単に気を
やりおったのう

ん っ っ っ

♡♡♡

わん

グッ

グッ

グッ

がく

がく

お っ

♡♡♡

グッ

グッ

グッ







お主は
喰うには向かんが
慰み者としては
非常に優秀じゃ

白様が喰う前に巫女共を
触手で翳ってやったが
最も靈力が高い巫女でさえ
簡単に壊れたからのう

お主なら長らく
楽しめそうじゃな
悶え^な哭く声が着に
丁度良いかもしれん

なあに安心しろ
腸を抉っても手足を千切っても
妾の糸で繋げて直してやるぞ
妖気を流し込む限りお主は
狂わんし壊れん



社前の肉人形や水神にも
腐らぬよう妾の妖氣を流して
おるし腹が減つて仕方ないわ

上に喰いかけの
肉が残っておるので
妾は食事に戻ると
するが：

お主も
妾が居らぬと寂しかろう
これでも腹に詰めて
待つておいてくれ

金





私の紋とあいつの糸が常に繋がっている…それなら…



二次元ドリームコミックス

妖狐淫紋奇譚

【第5話】

著者
ふみひろ

装丁
マイクロハウス

発行
株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル1F

●編集部 TEL.03-3551-6147 / FAX.03-3551-6146

●販売部 TEL.03-3555-3431 / FAX.03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。

本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。

また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©Fumihito

<https://ktcom.jp/>

【本作品のご意見、ご感想をお待ちしております】

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、シチュエーションなどとしお書きください！

読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。

手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

◎アンケートフォーム◎

<https://ktcom.jp/goiken/>



◎手紙・ハガキの宛先◎

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル

(株)キルタイムコミュニケーション 二次元ドリームコミックス感想係

Illustration by ふみひろ

『妖狐淫紋奇譚 第5話』
©KILL TIME COMMUNICATION

